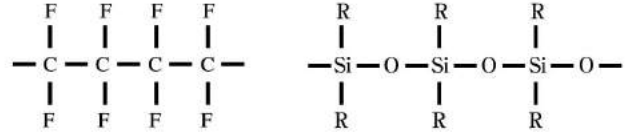


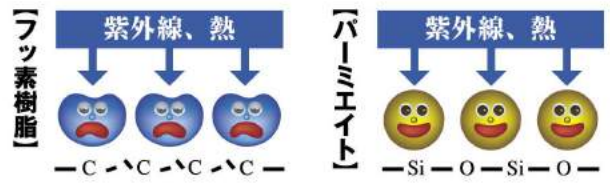
フッ素樹脂以上の耐久性・耐熱性



これまで、フッ素樹脂塗料が最も紫外線に強い塗料とされてきましたが、パーミエイトは硬化して-Si-O-Si-O-の無機系ポリマーとなるため、さらに優れた耐久性をもっています。そのため、塗膜が劣化し白い粉が噴くチョーキングも絶対におこしません。さらに、フッ素樹脂の融点(融ける温度)が150~330℃なのに対して、パーミエイトは約500℃まで融けることもなく、分解することもあります。つまり、パーミエイトは紫外線にも温度にも負けない、今までにない高い耐久性・耐熱性を持つ封孔剤なのです。



▲フッ素樹脂の分子構造図 ▲パーミエイトの分子構造図
R: -CH₃等の炭化水素基を意味します



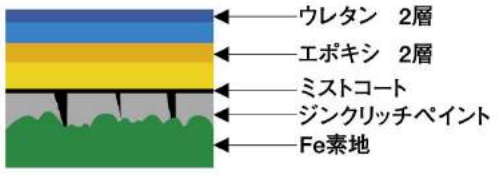
地球に到達する紫外線によって、フッ素樹脂は、側鎖(C-F結合)は切断されませんが、主鎖(C-C結合)は切断されます。一方パーミエイトは、側鎖(Si-C結合)は切断されますが、主鎖(Si-O結合)は切断されません。その他、エポキシやウレタン等の樹脂は、主鎖も側鎖もC-C結合であるため、フッ素樹脂よりさらに早く劣化することになります。

薄膜で重防食なみの高い防錆力

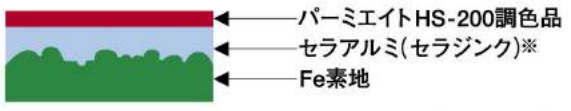


一般の塗料と異なり、パーミエイトは無溶剤のため、溶剤の蒸発によるピンホールを作らず、緻密な塗膜を形成。だから薄膜で高い防錆効果が得られます。塗布回数が少なく済み、工期も短縮できるほか、効果が長持ちするためライフサイクルコストを大幅に低下できます。

【重防食の事例】



【パーミエイトの事例】



※セラアルミ(セラジンク)…パーミエイトHS-200を主成分とした下地防錆塗材

優れた調色性



ご希望に合わせてあらゆる調色が可能です。



パーミエイトの不燃性実験

亜鉛めっき鋼にパーミエイトとフッ素樹脂塗料をそれぞれ塗装し、ガスバーナーで直火を当てます。フッ素樹脂塗膜は15秒で燃え始め、臭気も発生。一方パーミエイト塗膜は、2分経っても燃えず、冷却後に塗膜に割れが発生したのみ!

フッ素樹脂

パーミエイト



無溶剤だから環境にやさしいパーミエイト

パーミエイトはシンナーなどの溶剤をいっさい含まない「無溶剤」の封孔剤です。施工時に匂いもなく作業環境も快適。大気汚染やシックハウス症候群などの心配のない、環境にやさしい製品です。

